

**・海外感染症流行情報 2026 年 10 月****(1) 全世界：インフルエンザ、COVID-19 の流行状況**

日本では 10 月にインフルエンザの流行が注意報レベルになり、検出されるウイルスは A (H1N1) 型が多くを占めています（厚生労働省 26-10-23）。東アジアや東南アジアでも A (H1N1) 型の流行がみられ、患者数が増加傾向にあります（WHO 西太平洋 26-10-22）。

COVID-19 については、ヨーロッパで患者数が 10 月も増加しており、XFG 型が主流です（ヨーロッパ CDC 26-10-16）。一方、日本では BA.3.2 型が主流で、夏の流行はほぼ収束しました（厚生労働省 26-10-23）。

**(2) アジア：アジアでのデング熱流行状況**

アジアでは 10 月も、マレーシア、ベトナム、タイでデング熱の患者数が多くなっています（WHO 西太平洋 26-10-15、WHO 南東アジア 26-10-21）。また、バングラデッシュで 10 月に患者数が急増し、今年の累計数は 11 万人になりました。アジアの熱帯、亜熱帯では 11 月も媒介蚊の発生が続くため、デング熱への予防対策が必要です。

**(3) アフリカ：アフリカでのエボラ出血熱の流行**

コンゴ民主共和国・北東部でのエボラ出血熱の流行は、10 月に入っても高いレベルの感染拡大が続いています。累積患者数は 10 月下旬までに 9,704 人（死亡者 4,687 人）で、この 1 ヶ月で約 2,000 人増加しました（WHO 26-10-23）。また、周辺国のケニアで 9 人、ナイジェリアで 1 人の患者が確認されました。ケニアではコンゴの流行地域からの入国者による拡大ですが、ナイジェリアの事例については感染ルートが判明していません（ボストン大学 BEACON 26-10-23）。

**(4) アフリカ：西アフリカでのジフテリア流行**

西アフリカ各国でジフテリアの流行が発生しています。ナイジェリアでは今年になり 1 万 2000 人の患者（596 人死亡）が発生し、セネガルでは首都ダカールなどで 248 人の患者（11 人死亡）が確認されました（ヨーロッパ CDC 26-10-16）。モロッコでも小規模な流行が発生しています。西アフリカに滞在する際には、三種混合ワクチン（ジフテリアが含まれる）の接種を受けておくことが推奨されます。

**(5) ヨーロッパ：フランス、イタリアで蚊媒介感染症の患者増加**

今年の夏はヨーロッパ各地で蚊媒介感染症の患者数が増加しています。フランスではチクングニア熱が 163 人、西ナイル熱が 178 人、イタリアではデング熱が 60 人、西ナイル熱が 748 人報告されました（ヨーロッパ CDC 26-10-16、英国 NaTHNaC 26-10-15,16）。フランスでは地中海沿岸地方、イタリアでは北部から中部で患者発生が多くなっています。なお、フランスで 10 月にシャモンダウイルスの初めての患者が発生しました（ヨーロッパ CDC 26-10-22）。このウイルスはウシなどが保有しており、ヌカカによって媒介されます。今回の患者は基礎疾患があり、ヒトへの感染は稀と考えられます。

**(6) 米州：米国などで麻疹患者が増加**

今年、米国では麻疹患者数が 10 月下旬までに 4,588 人にのぼっており、昨年 1 年間の患者数の 2 倍を超えました（米国 CDC 26-10-23）。死亡者も 3 人確認されています。患者の 3 割以上は東部ペンシルバニア州での発生でした。また、アメリカ大陸全体でも今年 10 月上旬までに 5 万 6000 人の麻疹患者が発生し、昨年同期の 5 倍近い数になりました。とくにグアテマラやメキシコでの発生が多くなっています（汎米保健機構 PAHO 26-10-22）。

**・日本国内での輸入感染症の発生状況（26 年 9 月 7 日～26 年 10 月 11 日）**

最近 1 ヶ月間の輸入感染症の発生状況について、国立健康危機管理研究機構・感染症情報提供サイトの感染症発生動向調査を作成しました。<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/idwr/2026/index.html>

**(1) 経口感染症：**輸入例としては細菌性赤痢 3 人、腸管出血性大腸菌感染症 60 人、腸チフス 4 人、パラチフス 1 人、A 型肝炎 9 人、E 型肝炎 1 人、アメーバ赤痢 4 人、ジアルジア症 5 人が報告されています。腸管出血性大腸菌感染症は前月（46 人）から大きく増加しており、韓国での感染が 49 人と大多数を占めていました。

**(2) 節足動物が媒介する感染症：**デング熱は 32 人報告され、前月（25 人）に比べて増加しました。感染国はインド（8 人）、ベトナム（6 人）、カンボジア（4 人）、フィリピン（4 人）が多くなっています。マラリアは 4 人で、感染国は赤道

周辺のアフリカが 2 人、インドが 1 人、アフガニスタンが 1 人でした。

**（３）その他の感染症：**麻疹の輸入例は 2 人で、インドネシアとバングラデシュでの感染でした。エムボックスの輸入例は 3 人で、スペイン、英国、米国での感染でした。